

1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、みなは、学校で友だちのさとしがけがをして、しばらく学校を休んでいることをしりました。

「さとし、だいじょうぶかな」と思うと、むねがすこし しました。

家にかえってから、みなはつくえの上にあった折り紙を見ました。

「なにかできることはないかな」と考えて、つるをおってみることにしました。

でも、ひさしづりにおるので、うまくいかず、はしがずれてしまいました。

みなは、「これじゃだめだよね」と思って、もう一度ゆっくりおりました。

何まいかしばいしたあと、やっときれいにつるができました。

それを手にとったとき、みなはすこしほっとしました。

「これなら、さとしもよろこんでくれるかな」と思い、つるを小さなふくろに入れました。

つぎの日、みなは学校からのかえりに、さとしの家のポストにそのつるを入れました。

家にかえるまで、みなはずっと、「はやくよくなっ

てほしいな」と考えていました。

友だちのことを思ってたつるは、みなのこところも、すこしあたたかくしてくれました。



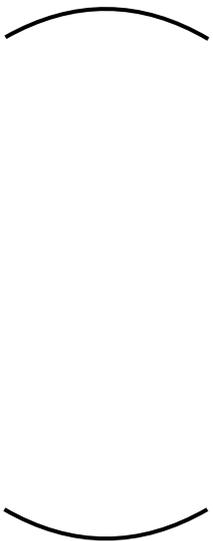
(1) 文中にある に当てはまる言葉として、正しいものを選び番号をまるでかこみましよう。

- ① わくわく
- ② ざわざわ
- ③ ぎゅーっと

(2) みなは、なぜさとしのためにつるをおろうと思いましたが。文の内容をもとに書きましよう。



(3) みな、何まいもおりましたのは、なぜですか。文の内容をもとに書きましよう。



(4) つるができたときのみなのおもちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましよう。

- ① はやくわたしたいけれど、うまくできなかったことがくやしいおもち
- ② うまくできたかしんぱいで、まだふあんなおもち
- ③ きれいにできて、すこしほっとしたおもち

1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、みなは、学校で友だちのさとしがけがをして、しばらく学校を休んでいることをしりました。

「さとし、だいじょうぶかな」と思うと、むねがすこし しました。

家にかえってから、みなはつくえの上にあった折り紙を見ました。

「なにかできることはないかな」と考えて、つるをおってみることにしました。

でも、ひさしづりにおるので、うまくいかず、はしがずれてしまいました。

みなは、「これじゃだめだよね」と思って、もう一度ゆっくりおりました。

何まいかしばいしたあと、やっときれいにつるができました。

それを手にとったとき、みなはすこしほっとしました。

「これなら、さとしもよろこんでくれるかな」と思い、つるを小さなふくろに入れました。

つぎの日、みなは学校からのかえりに、さとしの家のポストにそのつるを入れました。

家にかえるまで、みなはずっと、「はやくよくなっ

てほしいな」と考えていました。友だちのことを思ってたつるは、みなのこところも、すこしあたたかくしてくれました。



(1) 文中にある に当てはまる言葉として、正しいものを選び番号をまるでかこみましよう。

- ① わくわく
- ② ざわざわ
- ③ ぎゅーっと

(2) みなは、なぜさとしのためにつるをおろうと思いましたが。文の内容をもとに書きましよう。

⤿
解答例 さとしがけがをして学校を休んでいると知り、なにかできることをしてあげたいと思ったから。

(3) みな、何まいもおりましたのは、なぜですか。文の内容をもとに書きましよう。

⤿
解答例 つるをきれいに作りなおしたかったから。

(4) つるができたときのみなのおもちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましよう。

- ① はやくわたしたいけれど、うまくできなかったことがやしいおもち
- ② うまくできたかしんぱいで、まだふあんなおもち
- ③ きれいにできて、すこしほっとしたおもち